

## 地域住民・子供たちとの連携による農空間保全

### 山田農空間保全協議会（大阪府南河内郡太子町）

- 山田地区は、金剛生駒紀泉国定公園となる二上山の山麓に広がる丘陵地であって、豊かな緑と歴史的景観に包まれた農村で、主に水稻、野菜や果樹が生産されている。
- 高齢化や後継者不足、及び鳥獣被害の増加により、耕作放棄地が増え、良好な農村景観が失われつつあった。
- 令和5年度に山田農空間保全協議会を設立し、農家・JAや地元小学校が連携した農空間保全活動に取り組んでいる。

#### 【地域概要】

取組面積	28.73ha	[田16.0ha	畑12.73ha]
農業用施設	開水路 6.7km 農道 4.4km	ため池	9箇所
主な構成員	水利組合 JA	実行組合 小学校	
交付金	130.1千円	(R7)	

#### 活動開始前の状況や課題

- 水利組合が中心となり、水路等の農業用施設の維持管理に努めてきた。
- 高齢化等により負担が増大し、持続的な農地、農業用施設の維持管理が課題となっている。



#### 取組内容

- 農業者・地域住民などにより、ため池や水路の草刈り、水路の浚渫や水路・農道の補修、併せて防災用土のう作りなどを実施して、施設の維持管理や長寿命化を図っている。



#### 取組の効果

- 地域協働による農業用施設の維持管理の実施により、営農環境に改善、農業用施設の長寿命化や農空間の保全および農業者の負担軽減が見込まれる。
- 地域住民、子供たちの農空間の保全への理解が得られ、地域の意識向上に繋がる。

